

地域が行き交う多世代居住の新たな可能性

(公財) ダイヤ高齢社会研究財団 澤岡 詩野

■はじめに

高齢者のみが住まう老人ホームやサービス付き高齢者住宅ではない。若者世代を中心に浸透しつつある入居者同士の交流を大事にしたシェアハウスでもない。多世代が共住し、かつ、住宅内でコミュニティが完結するのではなく、地域の一部として交り合う住まい方。これらを兼ね備えた住宅を探してみると、今の日本ではなかなか見つからないのが現状です。

そんな住まい方のできる住宅がないなら、行政や公的支援に頼らず、自らの手でつくってしまおうという取り組みが、今回、ご紹介する「荻窪家族レジデンス」と「笑恵館（しょうけいかん）」です。

■「荻窪家族レジデンス」という住まい方



建物外観

東京都杉並区の荻窪駅から徒歩7分ほどの古い閑静な住宅街に「荻窪家族レジデンス（以後、荻窪家族）」はあります。荻窪家族の周辺は、邸宅が建ち、プライバシーを重視する住民の多く住む、杉並区内でも高齢化率の高い地域です。ここにオーナーの瑠璃川正子氏のご両親が住み始めたのは1949年でした。200坪の敷地内には、庭には柿や梅の木が植えられ、家族で耕す畠がありました。その後、この畠は、木造賃貸アパートと駐車スペースに姿を変えていきます。ご両親は、瑠璃川氏と姉妹の支えを受けて、この地で長寿を全うしました。この時期に瑠璃川氏は、配偶者のご両親の介護も担うのですが、ここで実感したのは、公的な介護サービスの限界と、本当に困った時の支えは、地域内外に広がる多様なつながりであるという事でした。この経験は瑠璃川氏の人生観に大きな影響を与え、

住み慣れた家で生活し、人生を全うする為のつながりの在り方を模索するようになります。これを瑠璃川氏は「百人力」と呼び、「百人力の生まれる住まい」がその後に展開する荻窪家族の設立理念となります。

介護保険制度の専門家でもある全国マイケアプラン・ネットワーク代表の島村八重子氏らと共に、宮崎県にあるホームホスピスやケアタウン小平などの先駆的な取り組みを見学するのと同時に、杉並区の市民大学「すぎなみ地域大学」や講座を受講し、徐々に想いを具体化していきます。この時期に、高齢期のまちづくりの研究者（筆者）や施主の想いをコラージュなどの手法で形にする建築家の連健夫氏に出会い、2年以上にわたり、有志で何度も意見交換の会を繰り返します。さらに、建物として設計案が具体化した後には、荻窪家族に関心をもつ地域内外の人々に呼びかけ、住まい方、使い方のワークショップ、地域解放スペースの床に敷くタイルの絵付けワークショップなど、住ま



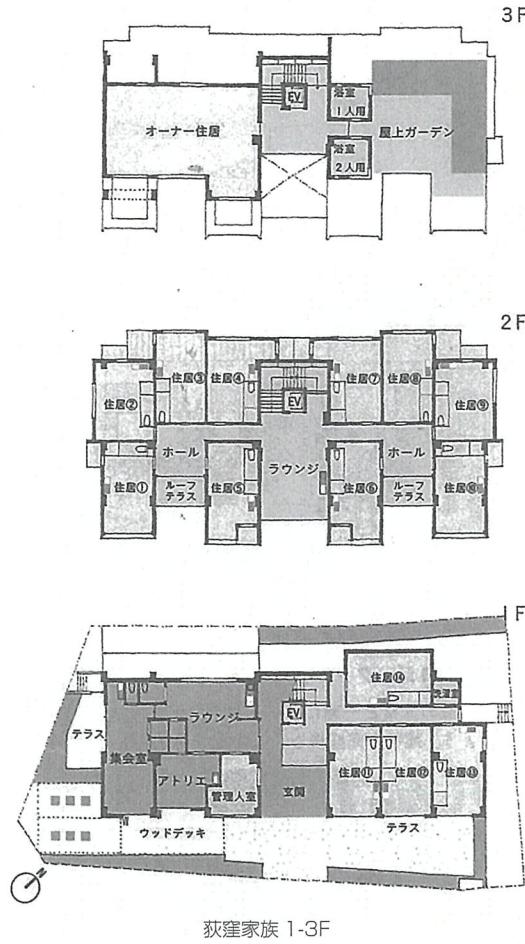
1階地域開放スペースラウンジ



1階地域開放スペース集会室

特集：高齢期の暮らしと住まい

い手だけではなく、使う人を巻き込む為のイベントを定期的に開催していきます。こうして、地域に解放された空間をふんだんに備えた多世代向けの集合住宅としてのハード・ソフトができあがっていきました。



荻窪家族 1-3F

瑠璃川氏が地域大学や講座、ワークショップで出会ったつながり、そのまたつながりは、荻窪家族の運営メンバーや強力な地域の支援者として活躍するようになっていきます。現在、このメンバーが主軸になつて行われている取り組みに、「ふらっとお茶会」「ちょこっと塾」「荻窪暮らしの保健室」が挙げられます。「ふらっとお茶会」は荻窪家族の住まい方や使い方を気軽に意見交換できる場、「ちょこっと塾」は地域で豊かに暮らし続ける為の知識を学べる場として、地域開放スペースの集会室やラウンジで定期開催されています。また、「荻窪暮らしの保健室」は、新宿区の戸山ハイツで始まった、ちょっとした不安を気軽に医療や介護の専門家に無料で相談できる「暮らしの保健室」をモデルにした取り組みです。看護師、社会福祉士、理学療法士、医師など多様な地域内外の専門家がボランティアとして関わり、荻窪家族らしい「暮らし

の保健室」の在り方を模索しながら月4回開設しています。この他にも、毎週火曜日には、瑠璃川氏の関わってきた子育て支援の活動が行われ、この日には子どもの元気な笑い声が住宅内に響きます。

これらの1階の半分近くを占める地域開放スペースでの取り組みは、メンバー制の「百人力サロン」の事業として行われています。サロンのメンバーには、地域内外の想いに賛同する人々と入居者で構成され、このメンバーとしての権利も、家賃に含まれています。月額15万円前後の家賃には、この他に1DKの居室(25m²+ベランダ:1階に4戸、2階に10戸)、入居者専用スペース(約165m²:共用キッチン、ラウンジ、屋上、浴室、洗濯室など)の賃料、共益費・設備費などが含まれます。4月末の本格的なオープンから数か月、レジデンスの3階に住まうオーナー夫婦の地道な努力もあり、新築の住まいとしてスタートした「荻窪家族レジデンス」は、試行錯誤を繰り返しながら、徐々に、地域に浸透しつつあります。



1階地域開放スペースラウンジ
ちょこっと塾



1階地域開放スペース集会室
子育て支援

2階居室



2階居住者専用リビング